

令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

石岡市

（地域における現状・課題）

石岡市においては、生徒数の減少により、部活動が成り立たないケースが増えている。具体的には、大会への参加を合同チームとして行ったり、部活動を閉鎖したりするケースが出ている。学校部活動ではなく、地域のクラブチーム等に所属し、活動している生徒も多い。また、教職員にとって、部活動が長時間労働の原因の1つとなっている。これらのことから、今後、学校部活動を継続していくことには課題があり、地域に運動や文化的活動に参加できる場をつくっていく必要があると言える。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：石岡市教育委員会

活動場所：石岡市運動公園、八郷運動公園、石岡中学校

指導者：石岡市剣道連盟、石岡陸上競技協会、JSP0認定指導者

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者送迎

責任主体：石岡市教育委員会

活動種目：剣道、陸上競技

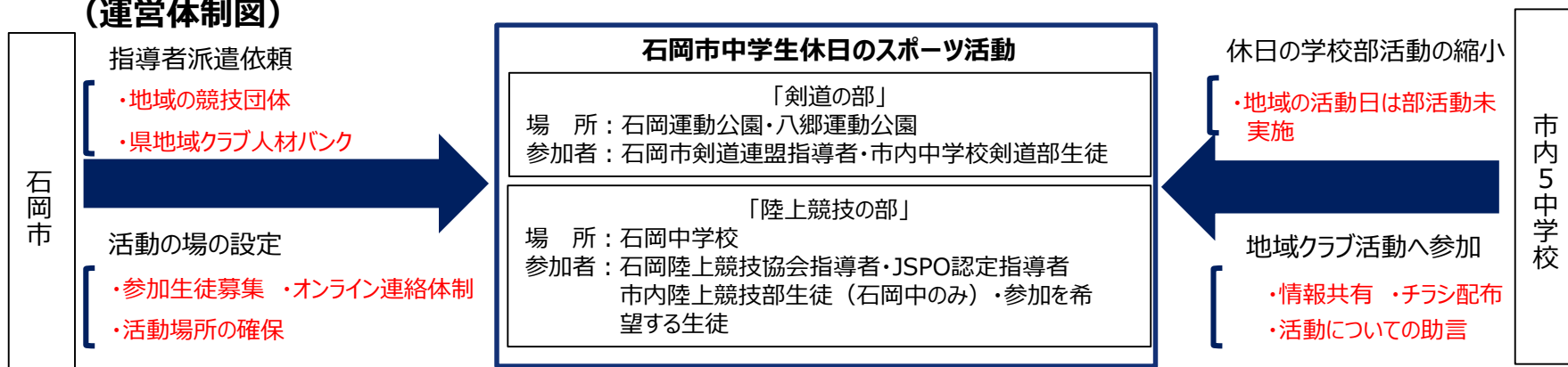
会費等：無料

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

剣道、陸上競技における活動を、各種目6回実施した。剣道では、石岡市剣道連盟の協力で、各回4名程度の指導者による丁寧な指導のもと、計22名の生徒が活動に参加した。また、市内に2か所ある運動公園を利用することで、中学校教員の協力を得なくても活動することができた。陸上競技では、石岡陸上競技協会から1名、県人材バンクから2名のJSP0認定指導者にご協力いただくことができた。中学校を拠点とする方法により、生徒は通常の部活動と変わらない形で参加することができた。拠点校の生徒を中心に、計51名の生徒が、専門性の高い指導を受けることができた。

（運営体制図）



【石岡市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	72350人	部活動数	58部活
公立中学校数	5校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	1629人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

石岡市においては、生徒数の減少により、部活動が成り立たないケースが増えている。具体的には、大会への参加を合同チームとして行ったり、部活動を閉鎖したりするケースが出ている。学校部活動ではなく、地域のクラブチーム等に所属し、活動している生徒も多い。

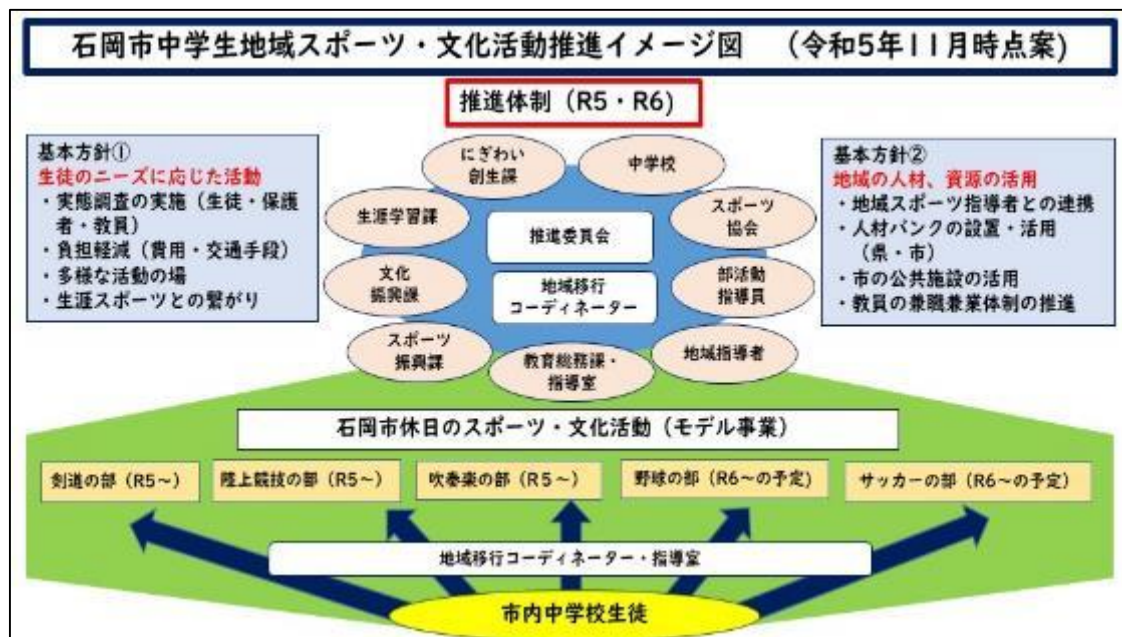
また、教職員にとって、部活動が長時間労働の原因の1つとなっている。これらのことから、今後、学校部活動を継続していくことには課題があり、地域に運動や文化的活動に参加できる場をつくっていく必要があると言える。

種目	令和5年度市新人体育大会に合同で参加したチーム数
野球	1
サッカー	1
バレーボール	1

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- 教育委員会（教育総務課指導室）
- コーディネーター委嘱・連携、関係部署や学校との連絡調整、会計
- 首長部局（秘書広聴課）
- 企業との連携、情報提供（市民への広報）

年間の事業スケジュール

時期	計画事項
8月	関係団体ヒヤリング（指導者の派遣について調整）
9月	生徒、保護者、教員対象アンケート実施 学校管理職を対象とした説明の実施
10月	指導者、部活動顧問との話し合い 「休日のスポーツ活動」チラシ配布、募集開始
11月	検討会議の実施（モデル事業に関する説明及び意見聴取）
12月	「休日のスポーツ活動」開始（剣道・陸上競技）
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成 検討会議の実施（モデル事業に関する報告及び意見聴取） 生徒、保護者、教員対象アンケート実施

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

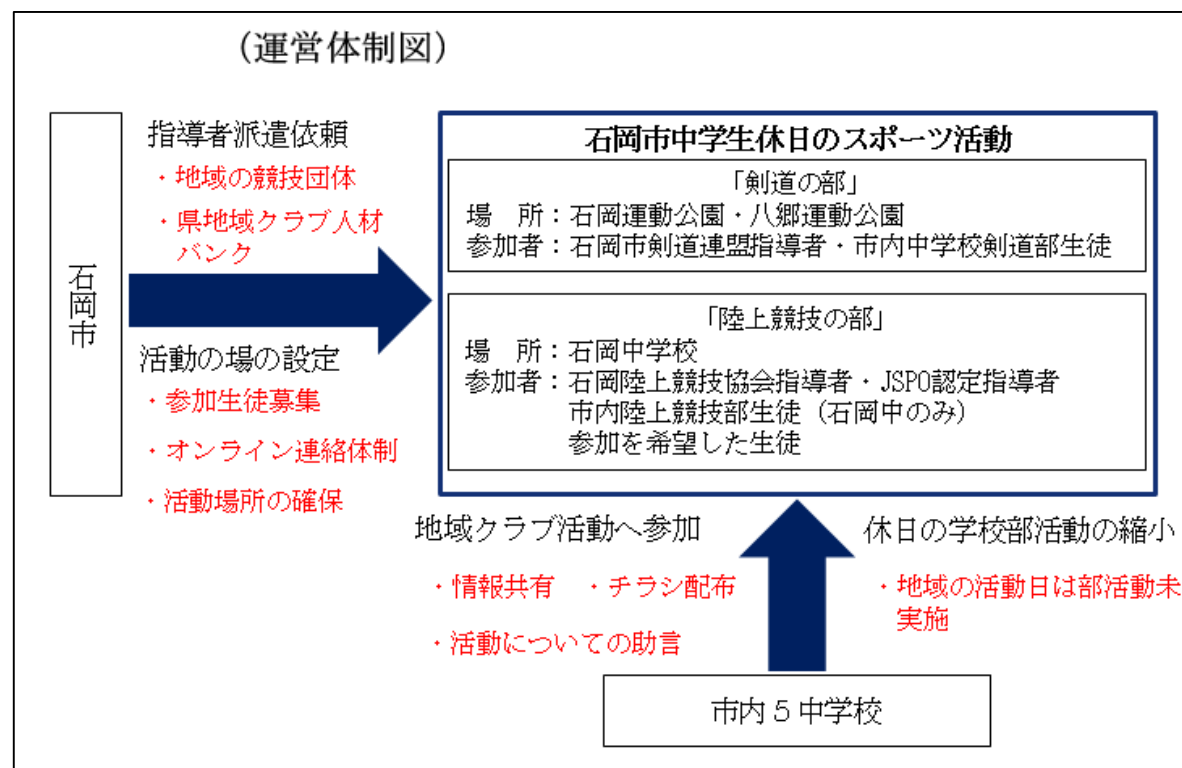
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	剣道、陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	2部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	石岡中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営主体名	石岡市教育委員会
運営類型	自治体運営型
1か月あたりの平均的な活動回数	月2回程度
指導者の主な属性	石岡市陸上競技協会
活動場所	石岡中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、スクールバス
1人あたりの参加会費等(年額)	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・令和5年2月22日（水）に、中学校部活動地域移行の現状や課題等について、地域スポーツ・文化活動指導者（代表者）を対象とした説明会を実施した。
- ・令和5年11月24日（金）に、推進協議会の立ち上げに向けて、中学校体育連盟、スポーツ協会、地域指導者、教育委員会内関係各課関係者の参加による、「石岡市地域部活動推進に係る連絡会」を実施した。
- ・令和6年2月16日（金）に、中学校体育連盟、スポーツ協会、地域指導者、市長部局、教育委員会内関係各課関係者の参加による「第1回石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会」を開催した。モデル事業の成果と課題を共有した上で、それぞれの立場から今後の方向性等について意見交換を行った。

取組の成果

- ・剣道、陸上競技における活動を、各種目6回実施した。ただし、陸上競技は、雨天のため1回中止した。
- ・剣道では、石岡市剣道連盟の協力で、各回4名程度の指導者による丁寧な指導のもと、計22名の生徒が活動に参加した。また、市内に2か所ある運動公園を利用することで、中学校教員の協力を得なくても活動することができた。
- ・陸上競技では、石岡陸上競技協会から1名、県人材バンクから2名のJSPO認定指導者にご協力いただくことができた。中学校を拠点とする方法により、生徒は通常の部活動と変わらない形で参加することができた。拠点校の生徒を中心に、計51名の生徒が、専門性の高い指導を受けることができた。

特に工夫した事項

- ・人材については、地域の競技団体との連携に加え、県の人材バンクを活用したことにより、複数の指導者を確保することができた。
- ・指導者と生徒が互いに連絡を取り合える様、Google Classroomを活用した。活動時間以外の時間に、生徒が指導者に質問したり、考えていることを伝えたりするなど、主体的な取組につながった。
- ・事前に顧問の先生と話し合う機会をつくり、学校における部活動を踏まえた上で、練習の場を設定するようにしたことで、生徒はあまり戸惑うことなく参加することができていた。

今後の課題と対応方針

- ・目標として、各種目5回以上実施することを掲げ、達成することができた。大会が少ない冬季に実施したことで、2種目合計で73人が申込み、延べ250人以上の参加実績に繋がった。
- ・移動手段の問題で、参加することができない生徒も一定数いた。複数箇所で開催することで、負担を減らせるようにしていく必要がある。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

剣道

<実績・成果>

1. 石岡市剣道連盟指導者による協力
 - ・各回 4名程度の指導者
 - ・連盟内で指導者の調整
2. 市内 4 中学から計22人が参加
3. 公共施設の利用
石岡市運動公園／八郷運動公園



2024/2/16

石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会

剣道

<課題・次年度に向けて>

1. 今年以上に生徒のニーズに応じた活動へ
<例>
 - ・石岡地区、八郷地区の2カ所開催
 - ・技能の程度に応じた練習を生徒が選択
2. 石岡市剣道連盟に対して市としてどのように支援していくことができるか



2024/2/16

石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会

陸上競技

<実績・成果>

1. 指導者の確保
 - ・県人材バンクの活用
 - ・JSPO陸上競技コーチ(2名)
 - ・石岡陸上競技協会より(1名)
2. 拠点校型の活動
 - ・石岡中学校の陸上競技部の活動がベース(石岡中会場・51人参加)
 - ・市内他の学校からの参加は1人
3. Google Classroomを活用した相談体制



2024/2/16

石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会

陸上競技

<課題・次年度に向けて>

1. 休日の部活動の完全移行に向けたモデルとして
2. 他校生徒の参加
 - ・様々な運動種目の冬期(オフ期間)におけるトレーニングの場として
3. 公共施設の利用
 - ・石岡市運動公園陸上競技場



2024/2/16

石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会

2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



剣道の様子①



剣道の様子②



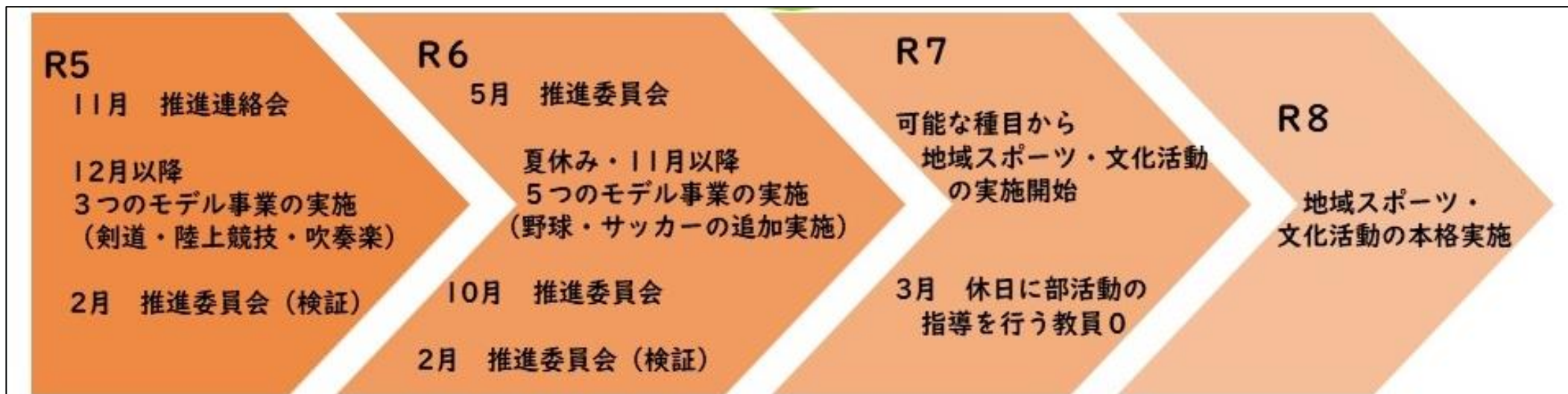
陸上競技の様子①



陸上競技の様子①

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



R5

- 教育委員会を主体としたモデル事業の実施
- モデル事業による成果と課題の検証
- 「石岡市地域スポーツ・文化活動推進協議会」の設置

R6

- 教育委員会を主体としたモデル事業の拡大
- 自走を目指した持続可能な運営方法の検討
- 「石岡市地域スポーツ・文化活動推進協議会」の複数回開催による推進体制の強化

R7

- モデル事業の成果を生かし、可能な種目から地域へ移行
- 休日における学校部活動の縮小
- 大会参加方法の見直し、新たな活躍の場づくり

R8

- 地域スポーツ・文化活動を運営する団体、指導者の支援
- 困窮家庭等への支援等、全ての生徒が自分の希望に応じて参加できる体制づくり

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

